



宮 建 第159号
平成20年11月11日

国土交通省道路局長 様

一宮町長 玉川孫一郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件につきまして、大変遅くなりましたが、別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式2

②－1 地域の現状と抱える課題

千葉県一宮町

○現状	○課題
一宮町の交通ネットワークは、町の中央部を南北に走る国道128号を基幹に、近隣市町村に連絡する5本の一般県道によって基本的骨格が形成されている。 また、海岸沿いには主要地方道飯岡一宮線が走り、海岸部の交通を支えている。なお、それらを補完する生活道路として、町道が約236km走っている。 国道及び主要地方道の整備はほぼ完成しているが、県道は一部区間に未整備箇所を残している。	町の交通体系を充実させるため、国道、県道や町道を有機的な結びつきをもって整備する必要がある、特に圏央道の整備による効果をより一層発揮するため、同インターと連絡する、地域高規格道路「茂原一宮大原道」(通称グリーライン)の整備は、当町をはじめ外房地域の発展に大きく寄与するものであり、大きな期待並びに早期の完成が待たれている。 一方、高齢化社会により、車優先の道路整備より、人中心の整備へと変わりつつあり、バリアフリー新法等の施行により、高齢者、障害者等にやさしいまちづくりが求められている。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価)

様式④
千葉県一宮町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
高齢化社会に対応した バリアフリー社会の形成	駅周辺及び商店街等の国道及び県道等の歩道 設置並びに既存歩道の段差(障害)の解消。	駅及び商店街を利用する高齢者等が、安全・安心に 通過できることにより、バリアのない地域社会を形成 し、しいては、商店街並びに町の活性化へとつながる。	今後、バリアフリー新法に よる基本構想を策定する 予定。